

『ほあ、今日も不幸だ。。。』



上条当麻は街をぶらつきながらひとりごちた。

いつの間にか世界が二変じていた。

どうやら性行為を非常に強く推奨されている、世界の学園都市のようだった。

しかもよりによって自分には……

「性実習の補習」という、身に覚えのない課題が課せられていた。

小萌「上条ちゃんこのままだと留年なのですよー!」

と小萌先生にどやされ、何が何やらわからぬまま学校内を駆けずり回った。
恥を忍んでクラスメイトに片っ端から頼んで回ったものの……

「ごめんね、上条くんは……。早漏だからイヤ」

と打ち合わせしたかのように同じ文言で断られてしまったのだ
なぜか全員妙な間があつたような気がするが……

……。そしてクラス委員長こと吹寄には

「ランタの相手はこのクラスどころか学校中にもいないんじゃない？」
「……ま、二人くらいはいるかもね？」

とまで言われてしまう始末。その心当たりのことは教えてくれないじ。ケチ寄。巨乳。

とにかくこの世界の自分は秒殺早漏男というところで補完されてしまつてしまつてしまつて。不名誉すぎる。濡れ衣だ！……。そうだよな？

「どの世界でも俺は留年との戦いかよ……。』

こうなつたら小萌先生にでも頼まねばなるまいか……

そう決心しかけた時、視界の端っこに見覚えのある制服と短髪姿が目に入つてきた。

「おっぴろげにびちゃんか」

「ビリビリっというな！御坂美琴っっでんでしょ」

「……ふん？その学習用デバイス……」
「アంత、もしかして性実習の相手とか探してんの？」



「ああ……まあな」

「自己申告というものが許されるはずもなく、
性実習の証拠として録画用デバイスを持たされている。」

「いや、学園都市みんなしてハメ撮りとかいかなものだろうかと
と上条は思う。が、こちらの学園都市ではこれが常識なのだ」

この少女もやはり性に奔放な女としてあつちこつちで……しているのだろうか？
ふと視線を下げていくと、年相応よりはやや小さい膨らみを意識してしまう。

（しかし上条さんとしても初めてが年下っつーのはどーもねえ……）
この世界での自分がどうだったか知る由もないが今の自分は精神的童貞である。
しばしの沈黙が二人の間で流れた。



「……………しよっしよっがなわね！」

「百戦錬磨の二の美琴ねーさんが相手して……」

うおおおおおお

うおおおおおおおお
おね——さま——！！！！！！



類人猿の実習でしたらこのわたくしに
お任せくださいまし！！！！！！！！！！

風紀委員活動

第百七七支部

「なあ……ほんとにいいのか？」

（結局は年下に筆下ろしされることになってしまった）

（しかもなんか花飾りの子いるんだけど……いや恥ずいぞー！）

初春「あ、私のことはお気になさらず、いつものことですので」

「はあもうくだいなんですの、類人猿さん」

「そもそもこれは風紀委員としての仕事の二環でしてよろ？」

「しかもっ！お姉様に害虫が寄るのを見過ごす訳にはまいりませんのー！」



「クラスメイトには早漏で避けられたのでしよう？」
「早く終わってくれろとこちらとしても助かりますので」

おんすっ

んん

んん

んん

んん

「チャッチャとお願いしますの！チャッチャと！」
「しかし……ちよっとおちんぽ長すぎやしませんの？」
「全員が拒否、というの……なんだか嫌な予感が……」

ん





「んおおおおオオオっ♡ほオオッ♡♡♡♡♡」

あゝ♡

あゝ♡

「イクっ♡おまんこイクっちやいますの♡♡♡♡♡」

ズン

ズン

ズン

ボク



っはあっ♡はあッ♡お、終わりましたの……？♡レ

へっソデカちゃんぽのピストン上手なら先に言えっ てんですのっ♡♡♡
へっ、早漏で助かりましたわ。。。うっ♡♡イグ♡♡

へ初春にこんな醜態を晒すと後でネ々にされ……

「ほんととすまん白井！エロすぎて勃起収まらん！」
「風紀委員の仕事だもん？いいいよな！！」

はー



32

ビーン

いはい

は。。。はあっ？
ちよま。。。っ♡おうっ？♡んおおお？♡♡♡

「んおおおお……♡おっほ♡♡♡
へお腹たばたばですのぉ……♡♡♡」

「ひえ……白井さんが妊娠したみたい……」

「はあ……っ！はあ……っ！すまん大丈夫か……っ！」

ビク

ビク

ビク

ぽてっ

「全員避けてる理由がハッキリしましたわっ♡
へ早漏で絶倫なんてさ……っ♡あくですの……♡♡♡」

「んほッ……♡精子……っ♡♡♡イッグ♡♡♡♡♡」

ふ……
ふ……

ふ……
ふ……

……。当然ながら、後で白井にはゴツテリとお説教をされた。

相手のことも思いやつてこそそのセックスであり、
性実習の本分はそこにあるらしい。

しかし……。自分自身でも信じられないほどの性欲だった……。

我を忘れて精を吐き出してしまったことを反省しつつ
白井つて名器つてヤツじゃないのか……。？などと呑気なことも考えてしまう。

「まあ……。実習のお相手がいらつしやらないなら、また訪ねてきてもいいですよ」

らしい。それは非常に助かる。

……。……。こいつ、ビリビリが関わらなかつたら普通に良い奴なんじゃないか？

















